

一般質問発言通告書

発言順位 18番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 3番 村田 耕一

質問事項1	障がい者福祉の向上
具体的内容	三島市では第5期三島市障害者計画を策定し、幅広い分野にわたる障がい福祉施策を総合的、計画的に推進していくとしている。具体的に推進しているのか以下に伺う。
1	こどもの補装具費支給制度において、こども家庭庁は令和6年4月1日に所得制限を撤廃しているが、8月に三島市のHPを確認したところその記載がないが実施しているのか。記載しないのか。
2	この補装具と同じに日常生活用具の給付においても18歳未満の障がい児に係る所得制限を撤廃すべきと考える。京都市、鈴鹿市では撤廃しているが三島市でもできないか。
3	新技術での排泄予測支援機器が介護保険の特定福祉用具販売の給付対象となっている。これを日常生活用具に追加できないか。
4	障がいがあり強度行動障害がある場合、障がい者グループホームなど受け入れ施設を探すのは難しい。県では高度な専門性をもつ広域的支援人材が配置されるということだが状況を伺う。
質問事項2	生活保護行政の確認
具体的内容	生活保護制度は憲法25条に基づく制度である。しかし各自治体により対応の状況が違っているという報告がある。その内容について三島市の対応は適切なのか以下に伺う。
1	申請受付後の扶養照会について、厚労省が新たな通知を発出し、一定程度本人の意思が尊重され扶養照会しなくてもよくなっている。三島市では扶養照会率と扶養照会後の支援実績集計はしていないとのことだが通知後の状況を行政の見える化として集計すべきと考えるが見解を伺う。ある調査では都内23区中集計していない区は6区のみとなっている。
2	生活保護のしおりに扶養照会を行わない特別な事情を丁寧に記載すべきと考えるがいかかか。
3	生活保護世帯から大学などに進学する子どものための三島市独自の給付型奨学金の創設を求めるがどうか。
4	県の監査があつたが指摘事項の内容を伺う。
質問事項3	ウェルビーイング
具体的内容	1 富士山南東スマートフロンティア推進協議会が行なった自動運転実証実験後、本年度ルートを延長して国交省に補助金を申請したが不採択になったと聞かすが、継続できるか伺う。
2	長泉町でAI利用のオンデマンド交通相乗りワゴンの実証実験を8月末まで行っており、三島市内の停留所も2か所設定されている。乗車する人がいなくても停留所に向かうのは変えるべきと考える。オンデマンド交通の実証実験を長泉町と連携して三島市でエリアを設定できないか。
3	高齢者バス等利用助成券事業の現状とこれから